

Tanaka, H., 1975a: Quasi-linear and non-linear interactions of finite amplitude perturbations in a stably stratified fluid with hyperbolic tangent shear, *J. Met. Soc. Japan*, **53**, 1-32
 —, 1975 b: Turbulent layers associated with a critical level in the planetary boundary layer, *J. Met. Soc. Japan*, **53**, 425-439.
 田中 浩, 1975 a: 安定成層流体中の波動伝播と一般場との相互作用, 第7回乱流シンポジウム報告書, 33-38.
 —, 1975 b: 内部重力波の理論, 気象研究ノート, **126**, 245-289.

—, 1976 a: 成層圏・中間圏(熱圏下部を含む)の乱流生成機構, IS レーダシンポジウム報告書, 総合研究(B), 90-103.
 —, 1976 b: 成層圏・中間圏の乱流, MAP 計画会議および特別シンポジウム報告書, 291-294.
 Thorpe, S.A., 1973: Turbulence in stably stratified fluids: A review of laboratory experiments, *Boundary Layer Met.*, **5**, 95-119.
 Woods, J.D. and R.L. Wiley, 1972: Billow turbulence and ocean microstructure, *Deep-Sea Res.*, **19**, 87-121.

第19期第6回常任理事会議事録

日 時 昭和52年4月27日(木) 14.00~17.00

場 所 気象庁海洋気象部会議室

出席者 岸保, 小平, 浅井, 朝倉, 内田, 奥田, 門脇, 神山, 杉本, 立平, 股野

報 告

〔庶務〕 1. 3月30日, トヨタ財団昭和52年度事業助成の案内がきた(昭52.11.1~53.10.31に開催される国際的学術研究集会 〆切5月31日).

2. 4月2日, 松永記念科学振興財団から松永賞贈呈候補者推薦依頼がきた(〆切6月30日).

3. 4月4日, 文化庁から新漢字表試案が送られてきた(意見があれば5月末日まで提出のこと).

4. 4月25日, 第19期選挙管理委員長から委員長就任承諾と学術会議会員候補者推薦選挙告示について報告があった.

5. 第24回風に関するシンポジウムの運営委員に花房静男会員を推薦した.

〔長期計画〕 気象学第3次長期計画(1965年2月)への反省について報告.

〔天気〕 論壇の新設について, 気象学ないしその関連分野の学問上の方法論, 大気科学全般の研究問題, 学会活動をより充実させ, 発展させてゆくための提案, 気象学の将来についての長期的展望と基礎的考察に立ったコメントなどについて, 「会員のひろば」よりもう少ししっかりした議論を展開したり, 広く会員の建設的意見などを発表しあう場として, 論壇の欄を新設したい. 長さは印刷2頁以内とする. 原則として会員の投稿を主体とする.

〔奨励金, 各賞〕 トヨタ財団の研究助成については学会として申請したい. また, 松永賞は, 理事会で候補者を出すようにしたい.

〔会計〕 3月分収支および昭和51年度決算書について報告. 監事の要望により, 各委員会へ渡した51年度の経費について3月末の決算書を提出していただくようお願いしたい.

〔気象集誌〕 投稿を要望する.

〔気象研究ノート〕 131号「スペクトル解析」は印刷中. 132号「都市気候一人間活動による気象・気候の変化」は, 浅井, 朝倉両会員に翻訳・編集して貰っている.

〔講演企画〕 3会場ともスライドおよびオーバーヘッドプロジェクターを準備する.

〔南極〕 POLEX-SOUTHについてのインフォーマルミーティングの開催について.

1. 5月の春季大会期間中にやりたい.

2. 話題提供は, 川口氏(極地研), 田中氏(東北大)他に2~3名.

3. 観測計画についての意見を聞く.

4. “まとめ”を天気に投稿.

〔学術会議〕 有権者登録, 地球物理関係240名. 大部分が気象関係である. 総会の報告(詳細は天気に掲載)があった.

議 題 1. 春季大会の準備について.

理事長あいさつ, 事業経過報告, 事業計画等について原案承認.

2. 昭和51年度予算決算について。
担当理事から原案について説明があり、了承された。
3. 学会賞、藤原賞の受賞候補者の推薦について。
担当理事から、推薦委員会による各候補者が次のとおり発表されたが選定規定により全理事の書面審査により決定する。
学会賞 菊池幸雄（気象研究所応用気象研究部）
藤原賞 吉野正敏（筑波大学）
4. 昭和53年度の当番支部について。
庶務理事が仙台と連絡する。
5. 大会委員長（山本孜気象大学校長）を評議員に推薦することについて。
正式文書で依頼することを了承。
6. その他
各委員の交代について。
(1) 天気編集

- 退任 黒崎明夫（電子計算室）
新任 植村八郎（予報課）
- (2) 気象集誌編集
退任 清水正義（札幌管区気象台）
〃 倉嶋 厚（ 〃 ）
新任 新田 尚（電子計算室）
〃 宮沢清治（予報課）
- (3) 南 極
退任 吉田菊治（東京航空地方気象台）
新任 島貫林治郎（南極観測事務室）
- (4) 長期計画
退任 倉嶋 厚（札幌管区気象台）
新任 青木 孝（予報課）
〃 立平良三（ 〃 ）

以上次回理事会で承認を求めることとする。
承認事項：安川克己ほか14名の新入会員を承認。